様式第７号（第11条関係）

景観計画区域内における行為の通知書

年　　　月　　　日

　　（宛先）静岡市長

住所

通知者　氏名

電話

|  |  |
| --- | --- |
|  | 法人その他の団体にあっては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。 |

　景観法第16条第５項の規定により、関係図書を添えて次のとおり通知します。

|  |  |
| --- | --- |
| 建築物等の名称 | 　 |
| 行為の場所等 | 地名地番 | 静岡市 |
| 用途地域 | □市街化区域（　　　　　地域）□市街化調整区域 □都市計画区域外 |
| 都市機能誘導区域（集約化拠点形成区域） | □区域内（　　　　　）地区　　□区域外 |
| 景観計画の地区等 | 景観計画重点地区 | 地区 |
| 一般地区 | 土地利用別地区 | □住居系市街地景観ゾーン □商業系市街地景観ゾーン□工業系市街地景観ゾーン □沿道系市街地景観ゾーン□田園・緑地景観ゾーン　 □自然景観ゾーン |
| 都市景観促進地区 | □静岡駅周辺ゾーン　　　 □清水駅周辺ゾーン□東静岡駅周辺ゾーン　　 □草薙駅周辺ゾーン□駿河区役所周辺ゾーン　 □安倍川駅周辺ゾーン |
| 行為の期間 | 着手予定日 | 年　　月　　日 | 完成予定日 | 年　　月　　日 |
| 設計者 | 住所（所在地） | 　 |
| 氏名（名称及び代表者氏名） | 　 |
| 電話番号 | 　 |
| 工事施工者 | 住所（所在地） | 　 |
| 氏名（名称及び代表者氏名） | 　 |
| 電話番号 | 　 |
| 連絡先 | 住所（所在地） | 　 |
| 氏名（名称及び代表者氏名） | 　 |
| 電話番号 | 　 |
| 敷地内における行為の種類 | 建築物 | □新築　□増築　□改築　□移転　□外観の変更（□修繕　□模様替　□色彩の変更） |
| 工作物 | □新設　□増築　□改築　□移転□外観の変更（□修繕　□模様替　□色彩の変更） |

　（注）□の事項については、該当するものにレを記入してください。

（建築物）

建築物及び敷地の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 届出部分 | 既存部分 | 合計 |
| 敷地面積 | ｍ2 | ｍ2 | ｍ2 |
| 建築面積 | ｍ2 | ｍ2 | ｍ2 |
| 延べ面積 | ｍ2 | ｍ2 | ｍ2 |

建築物別の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 建築物別の行為の種類 | □新築　□増築　□改築　□移転□外観の変更（□修繕　□模様替　□色彩の変更） |
| 用途 | 　 |
| 構造 | 　　　　　　　　　　　造（一部　　　　　　　　造） |
| 建築面積 | ｍ2 | 延べ面積 | ｍ2 |
| 最高の高さ | ｍ | 階数 | 階 |
| 屋上に設置する建築設備の種類及び高さ | 高架水槽　　　　　ｍその他（　　　　　　）　　　　ｍ |
| 修繕若しくは模様替又は色彩の変更に関する事項 | 立面の各面の　合計面積 | 　　　 　　ｍ2m2 |
| 外観の変更に係る部分の見付面積 | 外壁（窓面の開口部を含む。） | 屋根 | 合計 |
| ｍ2 | ｍ2 | ｍ2 |
| 外観の色彩 |  | 仕上げ（材料・方法） | 色彩（マンセル値） |
| 屋根材 | 　 | 　 |
| 外壁材 | 　 | 　 |
| （　　　　　　） | 　 | 　 |
| アクセント色 | 　 | 　 |
| アクセント部分の面積 | 　 | アクセント部分の　面積 | 見付面積（開口部を含む。） | 見付面積（開口部を含む。）÷５ |
| 東立面 | ｍ2 | ｍ2 | ｍ2 |
| 南立面 | ｍ2 | ｍ2 | ｍ2 |
| 西立面 | ｍ2 | ｍ2 | ｍ2 |
| 北立面 | ｍ2 | ｍ2 | ｍ2 |
| 屋外広告物の有無 | 　　　　　□有　　・　　□無 |
| 〔添付書類〕 　□景観チェックリスト（様式第２号）　□付近見取図　□配置図　□外部仕上げ表　□平面図 　□断面図　□外構図　□周辺状況写真　□着色立面図　□その他（　　　　　） |

（注）

　　１　この面は、建築物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更をする場合に添付してください。

　　２　□の事項については、該当するものにレを記入してください。

　　３　仕上げ（材料・方法）欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

　　４　アクセント部分の面積欄については、色彩の制限を超える場合に記入してください。

（工作物）

工作物別の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 工作物別の行為の種類 | □新設　□増築　□改築　□移転　□外観の変更（□修繕　□模様替　□色彩の変更） |
| 種類 | 　 |
| 構造 | 　　　　　　　　　　　造（一部　　　　　　　　造） |
| 高さ | 　　　　　　　　　ｍ |
| 長さ | 　　　　　　　　　ｍ |
| 橋りょう等の規模 | 延長　　　　　　　ｍ　　　幅員　　　　　　　ｍ |
| 土地に自立した太陽光発電設備を設置する区域の敷地面積 | 　　　　　　　　　ｍ2 |
| 修繕若しくは模様替又は色彩の変更に関する事項 | 立面の各部位の　合計面積 | 　　　　　　　　　　ｍ2 |
| 外観の変更に係る部分の見付面積 | 　　　　　　　　　　ｍ2 |
| 工作物の色彩 | 　 | 仕上げ（材料・方法） | 色彩（マンセル値） |
| 基本部分 | 　 | 　 |
| アクセント色 | 　 | 　 |
| アクセント部分の面積 | 　 | アクセント部分の　面積 | 見付面積（開口部を含む。） | 見付面積（開口部を含む。）÷５ |
| 　 | ｍ2 | ｍ2 | ｍ2 |
| 　 | ｍ2 | ｍ2 | ｍ2 |
| 　 | ｍ2 | ｍ2 | ｍ2 |
| 　 | ｍ2 | ｍ2 | ｍ2 |
| 屋外広告物の有無 | 　　　　　□有　　・　　□無 |
| 〔添付書類〕 　□景観チェックリスト（様式第２号）　□付近見取図　□配置図　□外部仕上げ表　□平面図 　□断面図　□外構図　□周辺状況写真　□着色立面図　□その他（　　　　　） |

　（注）

　１　この面は、工作物の新設、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更をする場合に添付してください。

　２　□の事項については、該当するものにレを記入してください。

　３　仕上げ（材料・方法）欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

　４　アクセント部分の面積欄については、色彩の制限を超える場合に記入してください。

様式第２号（第３条関係）

年　　　月　　　日

景観チェックリスト

　１　良好な景観の形成のために配慮した事項について

　（１）地域特性や周辺環境の解析

|  |  |
| --- | --- |
| 　 | 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |

　（２）敷地内配置計画及び周辺環境への景観配慮事項

|  |  |
| --- | --- |
| 　 | 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |

　（３）建築物等の景観に対するデザイン・コンセプト（屋根及びスカイライン並びに外壁等）

|  |  |
| --- | --- |
| 　 | 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |

　（４）外構計画及び敷地内緑化に対する景観配慮事項

|  |  |
| --- | --- |
| 　 | 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |

　（５）設備計画における景観配慮事項（屋外設置機器類の配置等）

|  |  |
| --- | --- |
| 　 | 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |

　（６）その他特に景観形成に対し配慮した事項

|  |  |
| --- | --- |
| 　 | 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |

　※　助言、協議事項

|  |  |
| --- | --- |
| 　 | 　 |
| 　 |
| 　 |
| 　 |

　（注）

１　※印のある欄は、記入しないでください。

２　次ページ以降は、行為を行う地区及び行為の種類に該当するチェックリストのページのみ添付してください。

重点地区景観計画【宇津ノ谷地区】景観形成基準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 建築物の最高高さ | 建築物の最高高さは10ｍ以下とする。 |  |

建築物の形態意匠

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 構造、構法 | 主要構造は木造とする。やむを得ずその他の構造とする場合は、外観を和風とする。 |  |
| 階数 | 建築物の階数は２階以下とする。 |  |
| 軒の高さ | 隣接する建築物の軒の高さと協調する。 |  |
| 屋根・庇の形状、素材 | 屋根は切妻を基本とし、寄棟又は入母屋による形状とする。 |  |
| 屋根の材料は日本瓦葺きを基本とし、庇、小屋根は、日本瓦葺き又は金属板葺きとする。 |  |
| 屋根は、いぶし、灰色又は黒色を基本とし、表の範囲の色彩とする。 |  |
| 庇、小屋根は、屋根と協調した色とする。 |  |
| 外壁の構造等 | 外壁の構造は大壁又は真壁とする。 |  |
| 外壁の仕上げは下見板張りを基本とし、漆喰壁、リシン壁、土壁、その他これらに類するものとする。 |  |
| 外壁の位置は、隣接する建築物と協調する。 |  |
| 外壁の基調色は、下見板張りの木地色やそれに類する茶色、こげ茶色を基本とし、漆喰やリシン壁、土壁を用いる場合は、素材色を基本としたベージュや生成り色、白などを基本とする。それらの範囲は表の通りとする。但し、神社様式建築物はこの限りではない。 |  |
| 玄関・開口部の建具 | 木製の板戸又は格子戸とする。やむを得ず金属製とする場合は、こげ茶色、黒色又は木目調の仕上げとし、同色のルーバーや格子により修景する。 |  |
| 建築設備等 | 建築設備や空調機及び電気・ガスメータ－は、道路から見えない位置に設置する。やむを得ない場合は、建物の外壁と調和した色彩、木製のルーバー、竹や植え込み等の緑化により修景する。 |  |
| 樋の色彩 | 樋の色彩は、こげ茶色、黒色又は銅板の素材色を基本とする。 |  |
| 付属建築物（車庫・物置、茶工場等） | 道路から直接望見できる場合は、次の各基準に適合すること。・屋根は、母屋の屋根の向き、勾配、色彩、軒や庇の高さと協調する。・外壁、開口部及び建具は、母屋と調和した仕上げ・素材とする。 |  |
| 門・塀 | 母屋と調和した土塀、板塀を基本とする。 |  |
| 門に屋根を設ける場合は、軒や庇と協調した高さとする。 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 屋根の色彩基準 |  | 外壁の色彩基準 |
| 色相 | 明度 | 彩度 |  | 色相 | 明度 | 彩度 |
| ５ＹＲ～５Ｙ | ６以下 | １以下(無彩色を含む) |  | ５ＹＲ～５Ｙ | ― | ４以下(無彩色を含む) |

工作物等の形態意匠

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 擁壁 | 擁壁は、野面石積みとする。やむを得ず他の材料を活用するときは、化粧型枠などによる仕上げとする。 |  |
| 自動販売機 | 自動販売機は、建築物の中に組み込む、又は、建物の外壁と調和した色彩の木製のルーバー等で修景する。やむを得ず屋外に設置する場合は、色を5Ｙ7.5 / 1.5とする。 |  |
| 郵便受・牛乳入等 | 建物の外壁と調和した色彩や木製のルーバー等で修景する。 |  |
| 緑化 | 旧東海道沿いは、家の前や外壁に四季の花を植える（飾る）ように努める。その他の区域で、前面道路に門や塀を設けない場合は、生け垣等による緑化に努める。 |  |